

(別紙3 様式第10号)

活 動 計 画 書

(令和4年度 ~ 令和6年度)

令和5年5月12日 策定

令和5年12月8日 改定

栃木の里山を守る会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇の里山を守る会

2. 所在地

〇〇県〇〇市〇〇1-2-1

3. 地区の概要、取組の背景、取組の概要、地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域活性化への寄与等

〇〇市〇〇地区と自治会は、住民の過疎化や高齢化によって手入れが行き届かなくなり荒廃が進む〇〇の森の問題に対し、地域住民や自治会の有志、NPO法人〇〇が「〇〇の里山を守る会」を設立。〇〇の森の整備を行いながら間伐体験や炭焼き体験を開催し、地域住民と都市住民との絆の森として地域の活性化を進る。〇〇の森は市有林であり、財政状況が厳しい中で十分な管理を行えていないため、市の方からも協定を結び、地域住民で管理をして貰えるのであればありがたいとの声をいただいている。

4. 取組概要

〇〇地区にあるコナラを中心とした広葉樹林について〇〇の里山を守る会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理を実施。整備後にコナラなどを植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおけるモウソウチクの除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の0.5haで炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い、地域内外の住民への炭焼き体験も実施する。

5. 構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

〇〇の森保全の会は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員40名のうち35名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が4名、県外1名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係のNPOに所属している者が10名、環境保全に関する市民団体8名などからなる。

6. 年度別スケジュール

取組メニュー	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
1.活動推進費	森林調査及び活動についての詳細な話し合い					
2.実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	雑草木の刈払い、 倒木の片付け	10.5 ha	雑草木の刈払い、 枯損木の伐採	12.0 ha	雑草木の刈払い、 不要木の除伐	12.0 ha
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	倒竹の片付け、古 竹の伐採処理	1.2 ha	古竹の伐採集積、 竹林の間伐集積	1.2 ha	竹林の間伐集積、 チップ処理	1.2 ha
B 森林資源利用タイプ	間伐、造材、搬出 (用材・薪用)	2.2 ha	間伐、造材、搬出 (用材・炭焼用)	2.5 ha	間伐、造材、搬出 (用材・炭焼用)	2.5 ha
C 森林機能強化タイプ		ha		ha		ha
	作業道の作設・補 修	200 m	作業道の作設・補 修	150 m		m
2-1 間伐等(除伐・枝打ちを含む) 実施面積		2 ha		ha		ha
2-2 活動を始める時点で長期にわたり 手入れをされていなかったと考えら れる里山林を整備する面積		9.0 ha		ha		ha
D 関係人口創出・維持タイプ	雑草木の刈払い、 意見交換	1 回	広葉樹の植樹、意 見交換	1 回	伐採、木材の搬 出、意見交換	1.0 回
3.資機材・施設の整備等						
1/2以内	刈払機	3 台	チェーンソー	2 台	チェーンソー	1.0 台
1/3以内	薪ストーブ	1 台	薪割り機	1 台		台
1/3以内 (関係人口創出・維持タイプ)	簡易トイレリース	1 式	簡易トイレリース	1 式	簡易トイレリース	1.0 式

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

※4 2のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と結果を測定するためモニタリング調査方法(地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載)

タイプ名	目 標	モニタリング調査方法
里山林保全	雑草木の刈払いや不要木を除伐し林内の見通しを良くし獣害を軽減する。林縁部からの見通しを30m以上確保する。 (広葉樹の森の整備)	林縁部に観測点(定点)を3箇所設定し、活動前と活動後の見通しが出来る距離を測定する。 (⑥見通し調査)
竹林整備	密集している竹林を3年間整備する。 (3,500本/ha程度とする) (タケノコの採れる竹林づくり)	竹林内に2箇所(10m×10m=100㎡)の調査区を設定し、活動前と活動後の本数を測定する。(⑧竹の本数調査)
森林資源利用	木材を持続的に伐採、造材、搬出し、利用する。	木材の搬出量を測定・記録する。 (⑨木材資源利用調査)

(注) 目標の設定及びモニタリング方法の記載については、別に定めるガイドランを参考とすること。

8. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
令和4年度	安全講習会(刈払機)	刈払機の基本操作、安全作業、熱中症及びハチ刺され対策等
	安全講習会(チェーンソー)	チェーンソーの基本操作、安全作業、目立て等メンテナンス
令和5年度	安全講習会(刈払機)	刈払機の基本操作、安全作業、熱中症及びハチ刺され対策等
	安全講習会(チェーンソー)	チェーンソーによる伐採(枯損木伐採・かかり木処理など)
令和6年度	安全講習会(刈払機)	刈払機の基本操作、安全作業、熱中症及びハチ刺され対策等
	安全講習会(チェーンソー)	チェーンソーによる伐採(広葉樹の伐採、大径木伐採など)

(注)安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

安全装備	救急用具、防護衣、安全靴、防護メガネ、ヘルメット、子供用ヘルメット
傷害保険	〇〇損害保険(〇〇損害保険株式会社)

10. 4年目以降の活動(森林管理)計画

4年目以降(事業終了後)も「〇〇の森」の保全管理活動を継続して実施する。 また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動を継続し、地域の里山を維持・発展させる予定である。

11. 計画図(協定の対象としている区域の図面)

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

12. 持続性の向上に向けた取組

当事業の活動実施中に、イベント等を開催し地域の内外で興味がある人を対象に体験活動を行うなどし、活動人員の確保に努める。また、活動地域で生産される木材を有効活用し販売を行うことで活動経費の確保に努める。
--

※活動人員の確保・育成、活動経費の確保など、本字業による活動終了後も活動を継続していくために行おうとする取組について記載する。

13. その他

(1) 写真

取組の実施箇所に長期わたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入について記載すること。

項目(費目)	内 容	年間収入見込額(円)
会費	2,000(円/人・年)×20人	40,000円
体験活動参加費	1,000(円/人・年)×30人	30,000円
木材販売費	丸太 10m3、薪炭用木材 10m3	100,000円

(3) 委託 取組を委託する場合は、次を記載すること。

活動計画における取組についての委託	
・委託機関名	〇〇森林組合
・連絡先(電話番号等)	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
・委託時期	令和5年8月
・委託内容(委託する区域の林小班、委託業務の内容(面積、作業の内容)等)	急峻な〇小班の刈払い、かかり木の処理
・委託金額	200,000円